

2021年7月28日

報道関係各位

三菱地所株式会社

有楽町エリア再構築本格始動 「有楽町ビル」・「新有楽町ビル」建替計画着手

～JR有楽町駅前ビルの建替により、有楽町エリアの更なる発展に寄与～

三菱地所株式会社は、東京都千代田区有楽町一丁目に所有する「有楽町ビル」及び「新有楽町ビル」について、建替に着手することを決定しましたのでお知らせいたします。

「有楽町ビル」及び「新有楽町ビル」はJR有楽町駅前という好立地に位置しております。「有楽町ビル」は1966年の竣工から約55年が経過、また「新有楽町ビル」は1967年の竣工から約54年が経過しており、テナントニーズの高度化や脱炭素社会の実現に向けた社会的要請への対応強化、災害時における事業継続性を意識した防災機能の強化等の機能更新を図ると共に、有楽町エリアの上位計画で定められている魅力あるまちづくりに貢献すべく、建替計画に着手することといたしました。

当社は2020年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内NEXTステージ」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を目指しております。また、三菱地所グループ「長期経営計画2030」では、有楽町エリアを重点更新エリアの一つと定め、「文化芸術・MICEを核とした“まちづくりのショーケース”」の実現を目指しております。

2019年12月からは、有楽町エリア再構築に向けた先導プロジェクトである「有楽町^{マイクロ}STARs^{スターズ} Dev.」を始動しており、ビジネスセンターであるこのエリアに多様性を受け入れながら、新しい才能を発掘し活躍の場を創出することで、訪れる人を触発するクリエイティブなまちづくりを推進すべく様々な企画を展開してまいりました。また、アートを通じてまちの価値を再構築する新たな取り組みを実施しており、様々な人・アイデア・コト・モノとの出逢いを通じ、人々の感性が揺さぶられ更に磨かれるまちの実現に向けて前進しております。

本計画は、有楽町エリア再構築において第一弾となる新築ビルであり、「有楽町Micro STARs Dev.」における各種取り組みを通じて生まれつつある新たな「価値」を結実させ、当該エリアの再構築を牽引する当社旗艦ビルとして計画を進めてまいります。

建替計画の具体的な内容につきましては、今後、関係各位のご協力を得ながら検討を進めてまいります。尚、今後の具体的な建替スケジュールは未定ですが、両ビルは2023年を目途に閉館する予定です。

■「有楽町ビル」概要

- ① ビル名称：有楽町ビル
- ② 所在地：東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
- ③ 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地下5階 地上11階 塔屋2階建
- ④ 敷地面積：3,551.46 m² (1,074.32 坪)
- ⑤ 延床面積：42,159.08 m² (12,753.12 坪)
- ⑥ 竣工年月：1966年5月
- ⑦ 所有者：三菱地所株



■「新有楽町ビル」概要

- ① ビル名称：新有楽町ビル
- ② 所在地：東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
- ③ 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地下4階 地上14階 塔屋1階建
- ④ 敷地面積：7,233.26 m² (2,188.06 坪)
- ⑤ 延床面積：83,023.27 m² (25,114.54 坪)
- ⑥ 竣工年月：1967年1月
- ⑦ 所有者：三菱地所株



■位置図



【ご参考】有楽町再構築に向けたこれまでの取り組み

■先導プロジェクト：有楽町「Micro STARs Dev.」の概要

人の活動をまちづくりの中心に、まだ世の中で価値が定まっていない様々な人・アイデア・コト・モノを見出し、そしてcultivate（交わり・耕し・育み・磨く）し、次の時代を担うスターが生まれる“仕組み”を作るプロジェクト。生まれた新しい仕組み・取り組みを、有楽町エリア再構築のハード・ソフト両面に繋げる「新しいまちづくりモデル」である。18名のプロデューサーを中心に、多くの社外人材との協業によって、有楽町のまちを実際に活用しながら、次の時代を紡ぐチャレンジングな取り組みを続けている。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202_msd.pdf

※公式ホームページ：<https://yurakucho-msd.com>

有楽町「Micro STARs Dev.」プロジェクトの全体像

アイデアを
おもいつき、カタチに

Wonder
Working
Community
SAAI
(新有楽町ビル 10F)



アイデアが
試され、磨かれる

micro
FOOD&IDEA
MARKET
(有楽町ビル 1F)



アイデアが
実装され、羽ばたく

大丸有 日本へ
世界へ



有楽町生まれの人やモノゴトが、有楽町で磨かれ、
大手町・丸の内・有楽町に、そして日本全国・世界へ広がっていく

個性豊かなプロデューサー陣との協業をはじめとする、新しい外部連携の仕組み

■有楽町「Micro STARs Dev.」の拠点

①有楽町「micro FOOD & IDEA MARKET」

2019年12月に有楽町再構築の拠点として新有楽町ビル1階に開業した複合型店舗。まだ価値の定まりきらない(=microな)モノ・コトを披露することをコンセプトとし、好奇心をくすぐる様々なアイデア・人・文化・食に出逢える。有楽町SAAIから生まれたアイデアの実装をはじめとして、店舗ならではの実験的な取り組みを行っている。

※開業リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec191202_micro.pdf

※公式ホームページ：<https://yurakucho-micro.com/>



②有楽町「SAAI wonder working community」

2020年2月に有楽町「micro FOOD & IDEA MARKET」とともに有楽町再構築の拠点となる場所として新有楽町ビル10階で開業した個人向けワーキングコミュニティ施設。会社や役職、本業や副業といった既存の枠組みに捉われない、これからの時代を創る人材が活躍できる場となること、個人単位のアイデアを事業としてカタチにする仕組みづくりに取り組んでいる。

※開業リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200213_saai.pdf

※公式ホームページ：<https://yurakucho-saai.com/>



■アートの取り組みを通じた有楽町再構築

有楽町エリアでは、アーティストの目線から有楽町の風景を捉え直す「有楽町アートサイトプロジェクト」や、店舗の入替期間をアーティストの活動の場として活用する「ソノアイダ#有楽町」を実施するなど、アーティスト達の感性によってまちや建物の新しい魅力を開拓しながら、このエリアならではのアートの取り組みを加速させている。こうした活動を通じて、多様な価値観を持って同時代を生きるアーティスト・クリエイターとともに、クリエイティブマインドをまちの原動力とする新たなまちづくり、有楽町というまちの価値再構築を目指している。

※有楽町アートサイト関連リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200709_yurakucho_art.pdf

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210316_interfaceyurakucho.pdf

※ソノアイダ#有楽町関連リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200818_sonoaidayurakucho.pdf

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec201110_sonoaidayurakucho.pdf



▲有楽町アートサイトプロジェクト（新国際ビル）



▲INTERFACE_YURAKUCHO（有楽町ビル）



▲ソノアイダ#有楽町

【ご参考】丸の内 NEXT ステージについて

大手町・丸の内・有楽町エリアにおける 2020 年以降のまちづくりの位置付け。イノベーション創発とデジタル基盤強化を通じ、個人のクオリティオブライフ向上と社会的課題の発見・解決を生み出すまちづくりを推進。有楽町エリア及び常盤橋エリアを重点的に整備し、2030 年までに約 6,000～7,000 億円を建替及びソフト整備に投資する予定。

- ・テーマ：丸の内 Re デザイン
- ・目指す姿：“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”
（「価値」：個人の QOL 向上と社会的課題の発見・解決）
- ・施策：
 - ・イノベーションが生まれ続けるエコシステムの形成に、まち全体で取り組む。
 - ・ハード面の基盤整備に加え、デジタル基盤を強化する。
- ・リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf